



2025年1月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年3月13日

上場会社名 株式会社あさくま 上場取引所 東
コード番号 7678 URL <https://www.asakuma.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣田 陽一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 西尾 すみ子 (TEL) 052(800)7781
定時株主総会開催予定日 2025年4月25日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年4月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期の業績 (2024年2月1日～2025年1月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期	8,350	—	179	—	184	—	567	—
2024年1月期	5,807	—	164	—	176	—	130	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年1月期	106.89	106.86	20.4	4.6	2.2
2024年1月期	24.56	24.55	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2025年1月期 ー百万円 2024年1月期 ー百万円

- (注) 1. 当社は、2024年1月期より決算日を3月31日から1月31日に変更いたしました。これに伴い、当事業年度(2024年2月1日から2025年1月31日)と比較対象となる前事業年度(2023年4月1日から2024年1月31日)の期間が異なるため、対前期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2024年1月期は連結業績を開示しておりましたが、当事業年度より単体での業績を開示しておりません。そのため、2024年1月期の自己資本当期純利益率、総資産経常利益率及び売上高営業利益率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年1月期	4,355	3,070	70.5	577.85
2024年1月期	3,643	2,502	68.7	471.03

(参考) 自己資本 2025年1月期 3,070百万円 2024年1月期 2,502百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年1月期	314	△287	2	2,062
2024年1月期	—	—	—	—

(注) 当社は、2024年1月期は連結業績を開示しておりましたが、当事業年度より単体での業績を開示しております。そのため、2024年1月期のキャッシュ・フローの状況については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2024年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年1月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年1月期の業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,678	—	219	—	220	—	113	—	21.37
通 期	10,010	19.9	500	178.6	501	171.3	287	△49.3	54.19

（注）当社は、2025年1月期第4四半期より連結決算から非連結決算に移行したため、第2四半期（累計）の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年1月期	5,385,020株	2024年1月期	5,384,070株
② 期末自己株式数	2025年1月期	70,728株	2024年1月期	70,629株
③ 期中平均株式数	2025年1月期	5,313,523株	2024年1月期	5,313,441株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(持分法損益等)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、2025年1月31日付にて、当社の完全子会社であった株式会社あさくまサクセッションを吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなり、非連結決算会社となっております。そのため、当期の経営成績は、2024年2月1日から2025年1月30日における株式会社あさくまサクセッションの業績が反映されておられません。また、前事業年度と対象期間が異なっているため、比較分析は行っていません。

当事業年度における当社の取り組みといたしましては、経営理念である「“食”を通じて、社会に貢献していく」に基づき、お客様にびっくりしてもらおうをゴールに取り組んでおります。目指す姿としましては、店舗人員を少なくしながらも、お客様から「サービスが良くなったね」と言ってもらえることです。しかしながら、目下のところ、トレーニングが追いついておらず、店舗のQSC(商品品質・接客サービス・清潔さ)についてのクレームを多くいただくようになってしまい、これが来店客数の戻りが鈍い原因ではないかと考え、前期以降引き続き、クレームの改善と、サラダバーの充実に注力してまいりました。

サラダバーにおいては、提供アイテム数を15品目から45品目に増やした店舗を順次拡大しております。また、温かいメニュー“ホットバー”の導入、体験型デザートの実装により、アンケートによるお客様の声からも、喜んでいただいている手応えを感じております。新型コロナウイルス感染症流行前の2019年と比べ、既存店の来店客数の戻りは鈍く、2022年は2019年比で70%を切っている状態でした。2024年の4月からはほぼ100%に近づいてきており、6月以降は2019年の来店客数を超えるまでになり、“ステーキのあさくま”業態全店では2025年1月までで、25カ月連続2桁増収となりました。一方で課題としましては、サラダやデザートアイテム数や“ホットバー”を実施する店舗を増やしても、商品の補充や清掃がうまくできていないと、お客様の満足感が得られず、逆に不満を与えてしまうということが分かりました。そのため、当期においては、徹底することが非常に難しいのですが、補充と清掃のチェックとトレーニングに諦めずに全力で取り組みながら、更なるサラダバーの充実に注力して、お客様にびっくりしてもらえるものを目指してまいりました。また、コストをかけてでも来店客数増を目指すとして取り組んでおりますが、利益を増やすまでの増加に至っておらず、ここが踏ん張りどころだと思っております。

商品の施策においては、高単価のごちそうメニューとして、“和牛のひつまぶし御膳”、“和牛のステーキ重”、“和牛の焼肉膳”と“ロブスターのテルミドール”の販売を継続して行ってまいりました。これらの新商品はアンケートで喜んでいただいている手応えの反面、販売数がまだまだ少なく、まずはお勧めして1度食べてもらうことが課題と感じております。今後も高単価のごちそうメニューシリーズをさらに増やし、お客様に喜んでいただけるメニュー開発を行ってまいります。

採用と教育においては、前期以降、積極的に外国人の採用と教育を行ってまいりました。2024年12月～2025年1月には新たに3名のミャンマー人・ベトナム人が入社し、2025年4月までにさらに21名が入社予定で、早期に店長を目指せる人材に育ててまいります。

お客様と一緒にしてお店を作る(カンタレス経営)についてですが、お客様でもあるあさくまアプリ会員の方と一緒にメニューを開発する“お料理プランナーさん”の取り組みとして、季節に合わせたサラダバーに並べるメニュー、“白菜人参の柚子味噌和え”や“大根と厚揚げのみぞれあん”、“いちごのティラミス”などの商品開発を行ってまいりました。今後も季節に合わせたメニューを提供できるように継続して取り組んでまいります。

以上の結果、当社の当事業年度における業績は、売上高が8,350,136千円、営業利益は179,671千円、経常利益は184,711千円、当期純利益は567,974千円となりました。

なお、当事業年度における店舗展開につきましては、直営店で新規に1店舗増加したことに対して、1店舗の退店を行っております。また、2025年1月31日の株式会社あさくまサクセッションとの吸収合併により8店舗の承継を行っております。

上記の結果、当事業年度末現在における当社の店舗数は70店舗にFC店4店舗を加えて74店舗となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産は4,355,733千円となり、前事業年度末に比べて712,409千円増加しました。その内容は、以下のとおりであります。

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は2,601,490千円となり、前事業年度末に比べて170,816千円増加しました。主な要因は売掛金で59,142千円、未収入金で57,402千円、現金及び預金で37,452千円それぞれ増加したことによります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は1,754,243千円となり、前事業年度末に比べて541,593千円増加しました。主な要因は繰延税金資産で447,499千円、長期預金で50,000千円それぞれ増加したことによります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は1,107,886千円となり、前事業年度末に比べて120,014千円増加しました。主な要因は買掛金で84,458千円、未払費用で33,771千円、未払金24,055千円それぞれ増加したことによります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は176,956千円となり、前事業年度末に比べて24,283千円増加しました。主な要因は、長期借入金で65,760千円増加したことに対して、投資損失引当金で48,289千円減少したことによります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計の残高は3,070,889千円となり、前事業年度末に比べて568,111千円増加しました。主な要因は、利益剰余金が567,974千円増加したことによるものです。

この結果、総資産は前事業年度末より19.6%増加し4,355,733千円、負債は前事業年度末より12.7%増加し1,284,843千円、純資産は前事業年度末より22.7%増加し3,070,889千円となり、自己資本比率は70.5%（前期68.7%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比較し37,452千円（連結子会社の合併による増加額7,622千円を含む）増加し、2,062,036千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。なお、当事業年度より単体での開示となっているため、前事業年度との比較分析は行っておりません。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、314,907千円の収入となりました。これは主に、税引前当期純利益109,880千円、減価償却費111,438千円、減損損失80,258千円を計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、287,998千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出280,315千円、長期預金の預入による支出50,000千円を計上したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、2,921千円の収入となりました。これは、長期貸付金の回収による収入4,000千円を計上したこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社を取り巻く環境は、堅調な企業業績を背景に雇用・所得環境の改善が進み、景気は底堅く推移し、外食需要の回復基調が継続しております。一方で、長期化する地政学的リスクや円安傾向等による輸入物品やエネルギー価格、人手不足による人件費の高騰等のあらゆるコスト上昇が経営環境を圧迫しており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況のなか、当社は、2年間行っていなかった価格改定を行い、持続的成長のために、①QSCや生産性向上のための人材教育と仕組みづくり、②商品施策・サラダバーの充実と衛生管理の向上、③新規出店や既存店舗のブラッシュアップ、④新業態の開発・展開による顧客基盤の強化に、引き続き取り組んでまいります。

これらにより、当社の2026年1月期の業績予想といたしましては、売上高10,010,262千円、営業利益500,633千円、経常利益501,041千円、当期純利益287,980千円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の一貫性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月31日)	当事業年度 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,024,584	2,062,036
売掛金	272,791	331,934
原材料	58,831	68,000
貯蔵品	4,159	3,976
前払費用	34,329	41,826
関係会社短期貸付金	74,249	—
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	36,000	—
未収入金	35,906	93,309
その他	71	405
貸倒引当金	△110,249	—
流動資産合計	2,430,673	2,601,490
固定資産		
有形固定資産		
建物	398,636	443,730
構築物	21,830	24,191
機械及び装置	18,275	18,074
工具、器具及び備品	67,918	96,539
土地	87,806	68,445
建設仮勘定	44,071	3,800
有形固定資産合計	638,538	654,782
無形固定資産		
借地権	20,432	18,590
ソフトウェア	1,923	1,154
無形固定資産合計	22,355	19,744
投資その他の資産		
関係会社長期貸付金	75,960	—
差入保証金	425,680	456,771
破産更生債権等	812,892	—
繰延税金資産	89,660	537,159
長期預金	—	50,000
その他	36,415	35,785
貸倒引当金	△888,852	—
投資その他の資産合計	551,755	1,079,716
固定資産合計	1,212,649	1,754,243
資産合計	3,643,323	4,355,733

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月31日)	当事業年度 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	477,585	562,044
1年内返済予定の長期借入金	—	14,592
未払金	167,950	192,006
未払費用	123,108	156,880
未払法人税等	73,342	14,372
前受金	10,348	1,771
預り金	1,917	2,473
賞与引当金	17,539	16,354
株主優待引当金	31,728	43,235
その他	84,349	104,156
流動負債合計	987,872	1,107,886
固定負債		
長期借入金	—	65,760
長期預り保証金	14,400	22,200
資産除去債務	89,983	88,996
投資損失引当金	48,289	—
固定負債合計	152,672	176,956
負債合計	1,140,545	1,284,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,531	91,756
資本剰余金		
資本準備金	609,665	609,890
その他資本剰余金	1,103,340	1,103,340
資本剰余金合計	1,713,006	1,713,231
利益剰余金		
利益準備金	551	551
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	804,118	1,372,092
利益剰余金合計	804,669	1,372,643
自己株式	△106,429	△106,741
株主資本合計	2,502,778	3,070,889
純資産合計	2,502,778	3,070,889
負債純資産合計	3,643,323	4,355,733

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年1月31日)	当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
売上高	5,807,368	8,350,136
売上原価	2,476,879	3,728,080
売上総利益	3,330,489	4,622,055
販売費及び一般管理費	3,165,861	4,442,384
営業利益	164,627	179,671
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,374	1,826
協賛金収入	1,838	—
不動産賃貸料	2,671	3,206
受取保険金	4,780	—
その他	1,795	1,603
営業外収益合計	12,460	6,636
営業外費用		
その他	924	1,596
営業外費用合計	924	1,596
経常利益	176,163	184,711
特別利益		
貸倒引当金戻入益	24,000	—
固定資産売却益	—	11,820
抱合せ株式消滅差益	—	586
特別利益合計	24,000	12,407
特別損失		
減損損失	24,027	80,258
店舗閉鎖損失	—	6,980
固定資産除却損	5,887	—
投資損失引当金繰入額	22,416	—
特別損失合計	52,331	87,238
税引前当期純利益	147,832	109,880
法人税、住民税及び事業税	70,923	21,562
法人税等還付税額	—	△32,157
法人税等調整額	△53,579	△447,499
法人税等合計	17,344	△458,093
当期純利益	130,487	567,974

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年1月31日)

(単位：千円)

	株主資本							自己株式
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
当期首残高	91,531	609,665	1,103,340	1,713,006	551	673,630	674,181	△106,429
当期変動額								
当期純利益						130,487	130,487	
当期変動額合計	—	—	—	—	—	130,487	130,487	—
当期末残高	91,531	609,665	1,103,340	1,713,006	551	804,118	804,669	△106,429

	株主資本	純資産合計
	株主資本 合計	
当期首残高	2,372,290	2,372,290
当期変動額		
当期純利益	130,487	130,487
当期変動額合計	130,487	130,487
当期末残高	2,502,778	2,502,778

当事業年度(自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)

(単位：千円)

	株主資本							自己株式
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	91,531	609,665	1,103,340	1,713,006	551	804,118	804,669	△106,429
当期変動額								
新株の発行（新株予 約権の行使）	225	225		225				
当期純利益						567,974	567,974	
自己株式の取得								△312
当期変動額合計	225	225	—	225	—	567,974	567,974	△312
当期末残高	91,756	609,890	1,103,340	1,713,231	551	1,372,092	1,372,643	△106,741

	株主資本	純資産合計
	株主資本 合計	
当期首残高	2,502,778	2,502,778
当期変動額		
新株の発行（新株予 約権の行使）	450	450
当期純利益	567,974	567,974
自己株式の取得	△312	△312
当期変動額合計	568,111	568,111
当期末残高	3,070,889	3,070,889

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純利益	109,880
減価償却費	111,438
有形固定資産売却損益 (△は益)	△11,820
減損損失	80,258
店舗閉鎖損失	6,980
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,977
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	11,507
受取利息及び受取配当金	△1,826
売上債権の増減額 (△は増加)	△50,631
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,459
仕入債務の増減額 (△は減少)	73,945
未払金の増減額 (△は減少)	47,526
未払消費税等の増減額 (△は減少)	14,702
その他	39,052
小計	421,576
利息及び配当金の受取額	1,826
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△108,495
営業活動によるキャッシュ・フロー	314,907
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△280,315
有形固定資産の売却による収入	32,980
差入保証金の差入による支出	△229
差入保証金の回収による収入	9,565
長期預金の預入による支出	△50,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△287,998
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期貸付金の回収による収入	4,000
長期借入金の返済による支出	△1,216
自己株式の取得による支出	△312
新株予約権の行使による株式の発行による収入	450
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,921
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	29,830
現金及び現金同等物の期首残高	2,024,584
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,622
現金及び現金同等物の期末残高	2,062,036

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
1株当たり純資産額	577.85円
1株当たり当期純利益	106.89円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	106.86円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
1株当たり当期純利益	
当期純利益(千円)	567,974
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	567,974
普通株式の期中平均株式数(株)	5,313,523
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
当期純利益調整額(千円)	—
(うち支払利息(税額相当額控除後)(千円))	(—)
普通株式増加数(株)	1,648
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	(—)
(うち新株予約権(株))	(1,549)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当事業年度末 (2025年1月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,070,889
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—
(うち新株予約権(千円))	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,070,889
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,314,292

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。